



小学校中学年《3・4年生》のみなさんへ

夏休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2015年版]

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
絵本	「さみしかった本」  ケイト・バーンハイマー 文 クリス・シーバン 絵 福本 友美子 訳 岩崎書店	図書館に入った新しい本は、みんなに読まれてしあわせでした。でもだんだん古くなった本は、だれにも読まれなくなり、わすれられてしまいます。ある日、そんなさみしい本を手にとった一人の女の子がいました……。
絵本	「ばあちゃんのおなか」  かさい まり 作 よしなが こうたく 絵 教育画劇	ぼくのばあちゃんは、いつもいっぱい笑って、いつもたのしそうに遊んでいます。ぼくは、そんなばあちゃんの、大きな大きなおなか大好きです。楽しくて、ときどきじいーんとくるお話です。
絵本	「マララさんこんにちは」  ローズマリー・マカーニー 文 西田 佳子 訳 西村書店	17才でノーベル平和しょうにかがやいたマララ・ユスフザイさんは、いろいろな国の少女たちにたくさんのゆうきをあたえました。そんな少女たちからマララさんへのメッセージを、美しい写真とともにつづった写真絵本です。
図書	びじゅつかん 「おばけ美術館へいらっしやい」  柏葉 幸子 作 ひらい たかこ 絵 ポプラ社	「アルバイトぼしゅう。しきゅう! 美術館館長もとむ。ただし、10歳以下の女の子にかぎる」 美術館の館長のアルバイトをすることになった、まひる。おもしろそうと、軽い気持ちでドアを開けると、そこには…。
図書	「かあちゃん取扱説明書」  とりあつかいせつめいしょ いとう みく 作 佐藤 真紀子 絵 童心社	「かあちゃんは、ほめるときげんがよくなるんだ。とにかくほめること」と、とうちゃんが言っていました。あつかい方さえまちがえなければ、かあちゃんなんてチョチョイのチョイだ! ぼくはかあちゃんの手取扱説明書をつくることにしましたが……。

	書名 作者名 しゅっぱんしゃ	ないよう
図書	「手で食べる？」  森枝 卓士 文・写真 福音館書店	ごはんを手で食べるのは、おぎょうぎ悪いの? 世界には、フォークとナイフを使ったり、おはしとスプーンで食べたり、さまざまな食べ方があります。そのりゆうをたしかめてみませんか。
図書	「あたまをつかった小さなおばあさん」  ホープ・ニューウェル 作 松岡 亨子 訳 山脇 百合子 画 福音館書店	おばあさんは毎日、頭をつかったのしくすごしています。たとえば、エプロンが短かかったら上を切って下にぬいつけたり…。そんなおばあさんの、思わずわらってしまうようなお話ばかりです。
図書	「犬をかうまえに」  赤羽 じゅんこ 作 つがね ちかこ 絵 文研出版	犬がほしい小学4年生の空斗(くうと)。でも家ではどうしても犬が飼えません。そんな空斗に、「犬のさんぽボランティア」をやってみないか、という話がまいこみました。かいまさんのかわりに、犬のチャッピーをさんぽさせることになりましたが……。
図書	「アイちゃんのいる教室」  高倉 正樹 ぶん・しゃしん 借成社	身長はクラスで一番小さいけれど、返事は「はいっ」と、いつも元気な声。口ぐせは「明日もがんばっていいですか」。みやぎ県せんだい市の小学校で、ダウンしょうのアイちゃんと、つうじょう学級の子どもたちが過ごす毎日を、しょうかいしています。
図書	「やまんばあさん海へ行く」  富安 陽子 作 大島 妙子 絵 理論社	オリンピックせんしゅより元気で、プロレスラーより力持ちな296才のスーパーおばあさんがいました! 150年前のむかし、はじめて海に行ったやまんばあさんは、サメをつかまえようとして……。